



スタート
フィニッシュ
給水ポイント

学校ARDF競技大会
@新潟県阿賀野市一

2011ARDF甲子園(144MHz)での私の判断と行動



2011年7月31日(日)
於 新潟県阿賀野市
安島 巧

初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さんの役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



- △: スタート
- ◎: ファイニッシュ
- W: 給水ポイント

第8回全国高等学校ARDF競技大会
—平成23年7月31日@新潟県阿賀野市—

②探索開始地点

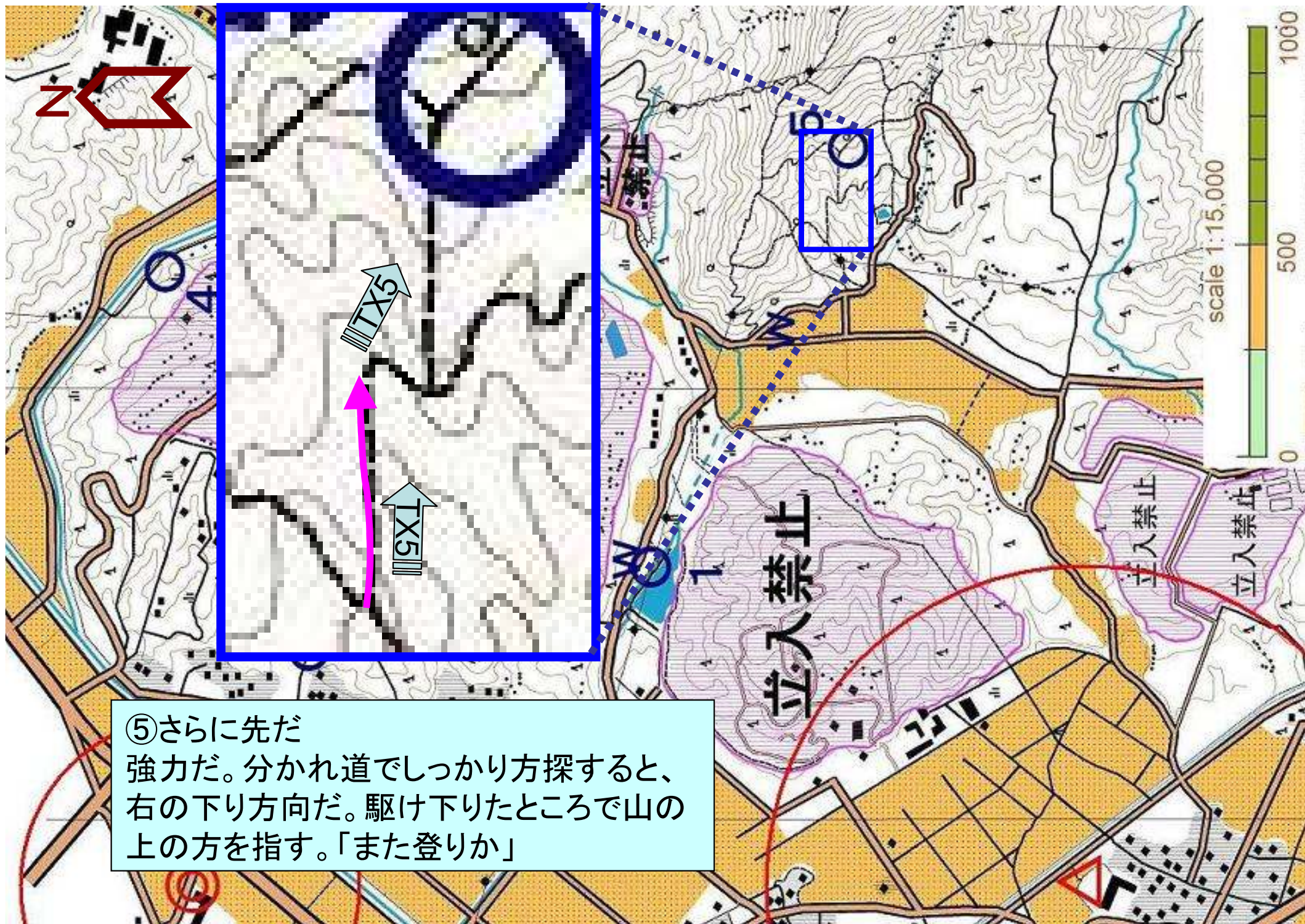
TX1,3,5が強くTX2,4は弱い。TX3はゴール方向なので、一番最後だ。TX2,4は山の向こう側と推定。第一ターゲットはTX5,1とする。右の山より南側ではなさそうなので、山と山の間へ入ることとする。



③TX5が強い

切通しに入るとTX5が強力に入感する。結構な人数が藪へ入っていきこうとしている。しかし、まだ距離感が掴めず、不安なため、道を進んで藪の反対側に進むことにする。

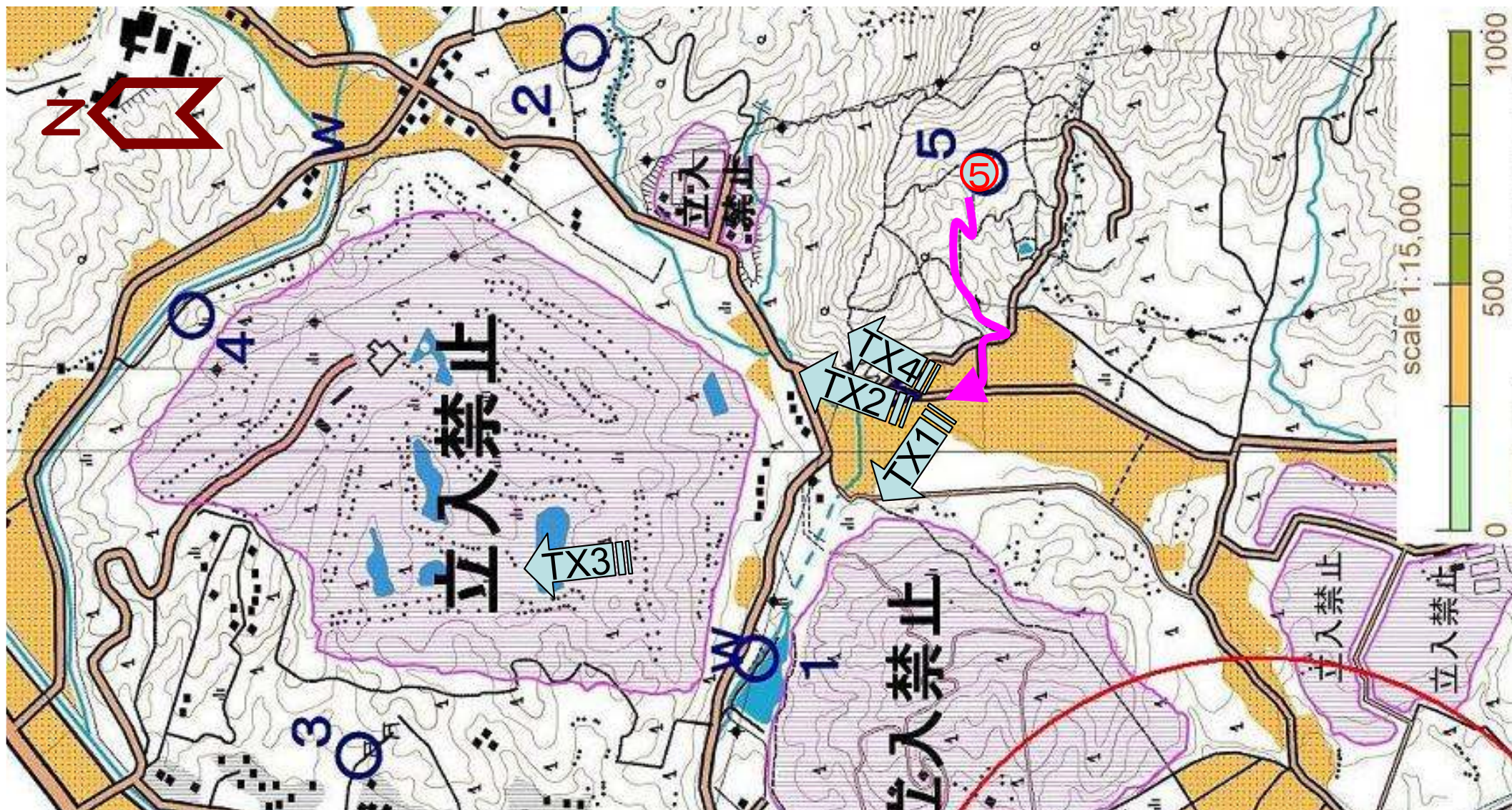






⑥TX5

結局、迂回するが道を使って登ることにする。登り終えたところで目視でTX5ゲット。



⑦平野部中央

山道を逆行して山を降り、反射波の影響を少なくするために平野部の中央の道で方探する中央の道なので給水ポイントはパスだ。TX2,4は前方の山の右方向。TX1は左方向で奥は深くない。ターゲットはTX1だ。

⑧不自然な給水ポイント

前方にまた給水ポイントがある。なぜこんな近いところに。しかもその付近にTX1がある。給水ポイントでの方探は避けたい。近づくと、絶好の方探場所である広い駐車場がある。これには代えられない。幸いにもTX1が鳴くのに2分程度ある。速攻で水を一口頂き、両山との距離があり、切通し方向が広く見通せ、かつ下の川が見渡せる絶好のポジションでTX1を待つ。鳴いた。超至近距離。階段を駆け下りTX1ゲット。





⑨牧場入り口

次のターゲットはTX2。山と山の間なので、どうしても道方向に方向が出やすい。牧場入り口でTX2を聞くが、そこから入るか先から入るか判断に迷う。近辺の高所は立ち入り禁止なので登れない。主催者の立場で考えれば、なるべく通したくない道であるので、そのまま進むことにした。



⑪ やられた

TX4,3を目指して道を進む。両方とも道進行方向から聞こえるが、TX3は反射して来ていることは明らか。ターゲットはTX4。交差点に到達した時点ではTX4が鳴くまであと2分。よってまっすぐに進むことにする。ゴール方向への近道として川沿いの道があることを確認しながら、見通しの良い場所でTX4を聞く。やられたゴール方向だ。

あわてて、先ほど確認した川沿いの道を行くと、もう一本の川と合流しておりそれ以上進めない。やられた。すごすごと交差点まで戻る。5分以上損した。



⑫給水ポイント

給水ポイントから道が2つに分かれている。どちらがよいか確率は1/2。強いて言えば、細い道の方がTXを置き易い。空に何かが舞っている。それは先の森に落ちた。前方の高校生を見ると受信機しか持っていない様子。地図か？気になって太い道を行くと、その高校生は森に入っていく。でも何故歩く。また飛んで行っちゃうよ。



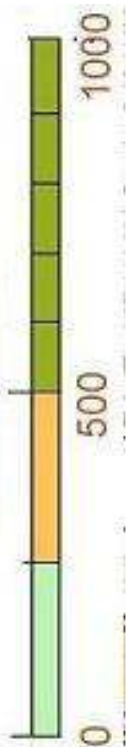
⑮橋のたもと

TX3が鳴く。しかしその方向にはARDF係員がいて通行止め。居なかったら確実にそこを登っていた。川沿いに少し進む。山側であることは確かだ。地図には道はないが、実際には道があるようだ。しかしその先の神社も怪しい。山からゴールまでの一直線道路を数人が走っている。神社と確信。

ARDF係員

ゴールに向かって走る人

scale 1:15,000



⑩TX3

神社へと入る道のところの車から大きなビデオカメラをもった人が出てくる。静岡放送の取材班だろう。TX3が鳴く。やはり神社だ。カメラマンも神社に向かって走っている。前方に別の道から派手なウェアの高校生がダッシュしている。神社の鳥居付近で停波。歩いて登っていると、派手なウェアの高校生が谷に目をやった瞬間、谷にダッシュ。その様子をカメラマンが撮影している。TX3ゲット。

取材班

scale 1:15,000

1000

500

0

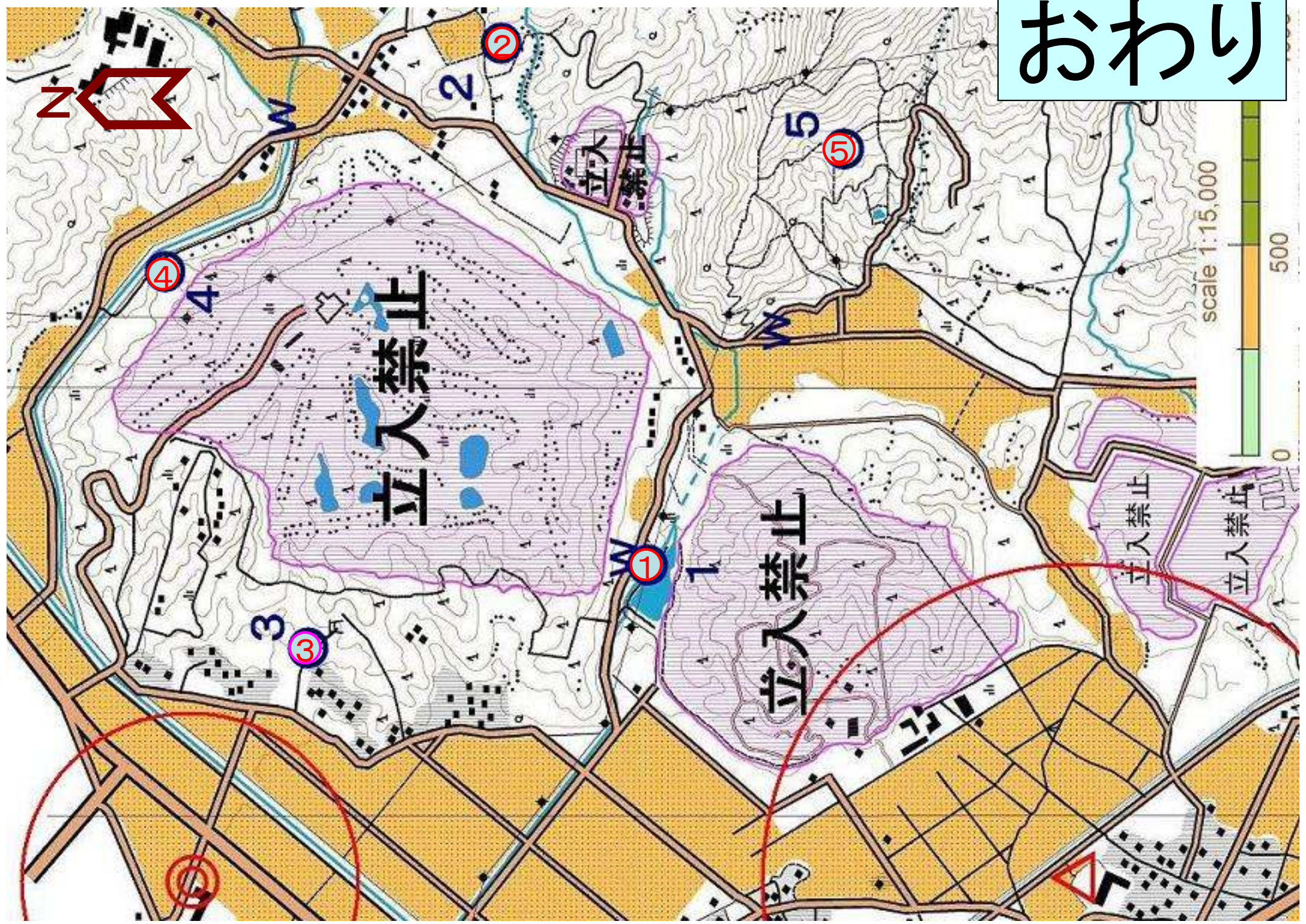


⑰ゴールへ

タイムオーバーは必至だ。スタッフのUFUさんが前方の高校生に合わせて信号を変えてくれている。折角なので自分も青の間に渡る為に走るが校門を目の前にしてタイムオーバー。
ゴールするとフィールド監視員のS先生は既にバスに乗っていた。

UFUさん

おわり



反省

◇TX4へ行くときに5分道草を食ってしまった。
まだ2分あるとあって直進してしまったのが直接的な敗因。でもそれ以上にリカバリーの川沿いの近道を見誤ったのが痛かった。確かに地図に記載されていない川もあったが、記載されている川の情報だけでも事前に行き止まりを予測できたのは事実。